

海外生活 エッセー

ロンドン事務所

楽しく話して学びあう ロンドンでの Language exchange

(一財)自治体国際化協会ロンドン事務所 所長補佐 宇野 真由美 (兵庫県派遣)

→ Language exchange とは

今から約1年前、ロンドン事務所に赴任して間もないころ、職場の先輩から、Language exchangeに参加してみないかと誘われました。Language exchangeとは、日本語に訳すと「言語交換」で、具体的にはお互い学んでいる言語を教え合うというものです。

ロンドンにはたくさんの Language exchange のグループがありますが、私が参加したのは、Japan Society が主催しているものです。毎月第1火曜日に日本語を学んでいる人や日本に興味のある人と英語を学んでいる日本人やイギリスに暮らす日本人が集まり、日本語、英語で会話をするというものです。パブで開催され毎回30~50人程度は参加していると思いますが、それぞれ好きなドリンクを買い、おつまみをつまみながら、立食形式で参加者同士思い思いに会話を楽しまします。



Language exchange の様子

参加して驚いたのは、これほどたくさんの方が日本語を話すのか!ということです。国際都市ロンドンですから、イギリス人、アイルランド人、イタリア人、フランス人など参加者の国籍はさまざまですし、日本語を学ぶことに

なったきっかけもそれぞれ違いますが、日本に対する情熱と日本語能力の高さに圧倒されたのを覚えています。

→ 友人ができ英語が身近な存在に

この Japan Society のイベント参加をきっかけに、4~6人程度の少人数でより厳しい Language exchange をしているグループに出会い仲間に入れてもらうことになりました。毎週1回カフェに集まり、30分ごとに話す言語を切り替えながら2時間会話をするというものです。

自分の言いたいことがうまく伝えられずもどかしい思いをしながらも、回数を重ねるごとに場にも慣れコミュニケーションもスムーズになってきました。

今ではカフェでの会話だけでなく、パブに行ったり、週末一緒に出かけたりするなどすっかり仲良くなっています。日本人以外の友人ができたことで、英語でのメッセージのやりとりや会話が日常生活の中に当たり前に入ってくるようになり、英語がぐっと身近なものになりました。

→ 完璧でなくてもよい

これらの友人とのやりとりを通じて気づいたことは、英語が完璧でなくてもコミュニケーションはとれる、仲良くなれる、ということです。これは自分にとって大きな自信になりました。英語がうまくなくても萎縮しなくてもよい、思い切って話していけば友達だってできるのだ、と。

今でも言いたいことを言いたいように表現するのはまだまだ難しいですが、地元の人と話す機会があれば、自分自身で背中を押して話すようにしています。

外国人と話すのが苦手という人も多いと思いますが、同じ人間同士、恐れず笑顔で話せばきっとわかりあえますよ。ぜひ一度お試しください!